

緑の基金*

36
2020
October



公益財団法人 長野県緑の基金

公益財団法人 長野県緑の基金

基本財産の運用で行う事業

当基金は、長野県が緑あふれる豊かな県として発展することを願う県民の皆様からいただいた基本財産の運用益などを活用し、健全な森林づくりと緑化推進活動を展開しています。

緑の募金で行う事業

当基金は、「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、「緑の募金による寄附金を用いて緑の募金及び緑の募金による寄附金の管理などの業務を行う者」として長野県知事から指定を受けた県内唯一の団体です。 身近な緑化活動や森林整備、森林ボランティア団体等を対象とする公募事業、みどりの少年団の育成などの人づくりを推進しています。

(公財)長野県緑の基金の基本財産と緑の募金額

令和2年3月末現在の基本財産

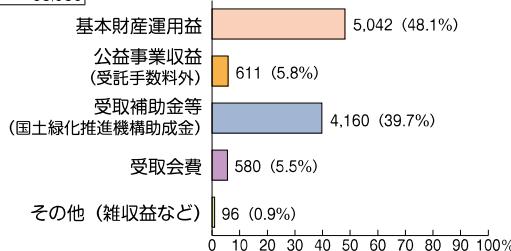
約5億8,986万円

基本財産（出えん金）の内訳

出えん者	金額（万円）
長野県	15,000
市町村	12,300
民間（企業・個人）	31,686
計	58,986

令和元年度緑の基金収入 (単位／千円)

計 10,489 千円

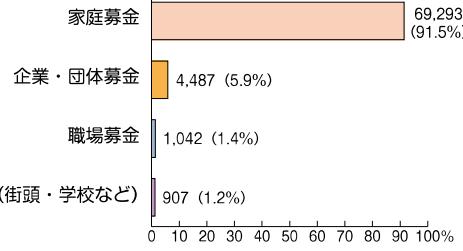


令和元年緑の募金額

約7,573万円

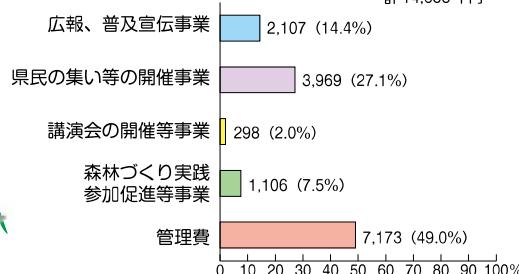
令和元年度緑の基金実績 (単位／千円)

計 75,729 千円



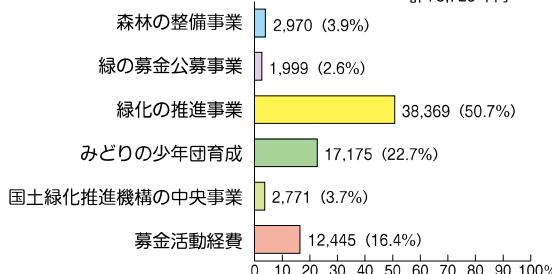
令和元年度緑の基金支出 (単位／千円)

計 14,653 千円



令和元年度緑の基金使途 (単位／千円)

計 75,729 千円





ご挨拶



公益財団法人 長野県緑の基金

理事長 中條 智子

この度、令和2年6月25日付けで理事長に就任いたしました中條智子と申します。宇都宮保前理事長同様、ご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当基金は、健全な森林づくりと緑豊かな環境整備を進めるために昭和58年に設立され、「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律(緑の募金法)」に基づく県内唯一の募金推進団体として、私たちの暮らしと緑をつなげ、豊かに育んでいく活動を推進してまいりました。

また、気候変動、地球温暖化といった世界が抱える課題に対し、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け、森林づくり活動、緑化の推進を通じて貢献できるよう取り組んでまいりました。

今、私たちの社会は豪雨災害の頻発、新型コロナウイルス感染症の感染拡大といったこれまでに経験したことのない困難に直面しています。持続可能で安定した、すべての人にとって豊かな社会をつくり上げるため、国際的な視点に立ち、私たちの暮らしを支え、豊かさや潤いを与えてくれる森林や緑の重要性を改めて認識し、これを守り、育て、将来の世代へ引き継いでいかなければなりません。

一人一人の力は小さくとも、力を合わせ、心を一つに活動を推進してまいりたく存じます。皆様のさらなるご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



2021年刊行予定

絵本シリーズ第8弾 「森のくまさん」 南信州物語（仮称）



大鹿村「のが池」付近。神秘的な雰囲気の中、作者の藤岡牧夫先生、何かを感じたようです。



「きのこがあった！」



木が伝えてくれる物語6~7 「森のくまさん」

長野県緑の基金では、さまざまな機会を通じて森林整備の重要性、森を守り育てていくことの大切さについて知っていただき、理解を深めていただく活動を行っています。

当基金が発行する「木が伝えてくれる物語」シリーズは、子どもたちの心の中に木を植えるプロジェクトとして、子どもたちを豊かな森に誘い、森の生き物たちとともに自然を自由に感じ、冒險をしながら、子どもたちが心豊かに育っていく絵本となることを願っています。

シリーズ第8弾は、森のくまさん 南信州編です。千曲川源流、木曽谷に続き、今回南信州を訪ねたくまさん。豊かな自然、歴史、文化に触れながら、不思議な体験やハラハラドキドキの発見をしていきます。

※表紙の絵は、「森のくまさん」木曽物語より抜粋しています。